

## 参考資料 1

自動車リユース部品利用マニュアル

(文書版)

# 参考資料 1

## 自動車リユース部品利用マニュアル (文書版)

平成 25 年 3 月

一般社団法人日本自動車リサイクル部品協議会

## はじめに

自動車はその役割を終えたクルマは一般的に「使用済自動車」と呼ばれています。しかし、年式は古いけれども走行距離数が少ない「使用済自動車」、追突されたけれども、フロント部分はしっかりしている比較的年式の新しい「事故車」、そういったクルマを鉄スクラップとして単純に処分するのではなく、使用可能な部品をそのままの形で「再使用」(リユース)することが望まれており、欧米では早くから「リユース部品」として使われています。

日本でも戦後、自動車産業が興隆、たかだか60数年を経過したところですが、先人達の努力により急速な効率生産技術の開発、優れた品質の組付け部品の生産を含め、世界屈指の自動車生産国として自動車先進諸国からも高い評価を受けるに至りました。こうした背景をもつ日本製自動車部品の「再使用」が注目されることは、当然のことといわなければなりません。

使用され、使用済みとなるクルマでも一般的な利用では平均走行距離は少なく、業務用のクルマとは異なり、その機能には、まだ十分に果たせるものがたくさんあります。

私たちは、これまでに自動車リユース部品を利用して頂くために啓発を行って参りましたが、エンドユーザーに直接的に提案する整備工場に対して、有効的なメリット、活用事例等を提案しきれておりませんでした。

そこで、リユース部品供給団体として業界を知ってもらい、また、理解してもらうためにリビルト部品を含むリユース部品の製造、品質・保証基準、商流、効率的な活用、活用事例等を順序よく解り易く、供給者側の考えだけでなく、整備工場からのヒアリングに基づく要望等も盛り込んで「リユース部品利用マニュアル」として本書を纏めさせていただきます。より多くの整備事業者および業界関係者に活用していただけることを願って作成いたしました。

一般社団法人  
日本自動車リサイクル部品協議会  
代表理事 清水 信夫

このリユース部品利用マニュアルは環境省「平成24年度自動車リサイクル連携高度化事業」の一環として作成されたものです。

## 「リユース部品利用マニュアル」目次

1.	リユース部品を利用するメリット.....	- 1 -
1.1	環境に優しい.....	- 1 -
1.2	現車に最も近いライン純正部品.....	- 2 -
1.3	安価な価格.....	- 2 -
1.4	工期の短縮.....	- 2 -
2.	リサイクル部品の定義と生産工程.....	- 3 -
2.1	リユース部品とリビルト部品の違い.....	- 3 -
2.1.1	リユース部品.....	- 3 -
2.1.2	リビルト部品.....	- 3 -
2.2	リユース部品とリビルト部品ができるまで.....	- 3 -
2.2.1	リユース部品の生産工程.....	- 3 -
2.2.2	リビルト部品の生産工程.....	- 4 -
3.	リユース部品の品質基準と保証.....	- 6 -
3.1	品質基準と保証の統一化の要請と必要性.....	- 6 -
3.1.1	リユース部品における品質表示と保証内容に関するガイドラインの必要性....	- 6 -
3.1.2	品質表示及び保証内容に関するガイドラインの目的.....	- 6 -
3.2	リサイクル部品協議会統一品質検討基準.....	- 7 -
3.3	統一保証.....	- 15 -
3.3.1	主要機能部品(2品目).....	- 15 -
3.3.2	準主要機能部品(7品目).....	- 15 -
3.3.3	足回り部品.....	- 16 -
3.3.4	電装部品.....	- 16 -
3.3.5	外装部品.....	- 16 -
3.3.6	内装部品.....	- 17 -
4.	リユース部品の商流.....	- 18 -
4.1	リユース部品供給団体の位置づけ.....	- 18 -
4.1.1	一般社団法人 日本自動車リサイクル部品協議会.....	- 18 -
4.2	在庫共有システムとは.....	- 20 -
4.2.1	概要.....	- 20 -
4.2.2	各部品供給団体の部品共有システム.....	- 22 -
4.2.3	システムに入力される情報.....	- 23 -

4.3	注文方法	- 25 -
4.3.1	問合せから納品までのフロー	- 25 -
4.3.2	問合せ・注文書の書き方	- 27 -
5.	リユース部品の供給量	- 29 -
5.1	高年式車輛	- 29 -
5.2	中年式車輛	- 29 -
5.3	低年式車輛	- 29 -
5.4	供給量の拡大に必要な取組み。	- 29 -
6.	リユース部品とリビルト部品の利用で注意すべき点	- 30 -
6.1	リユース部品	- 30 -
6.1.1	注文時点	- 30 -
6.1.2	到着時点	- 30 -
6.1.3	取付け時点	- 30 -
6.2	リビルト部品	- 30 -
6.2.1	注文時点	- 30 -
6.2.2	到着時点	- 30 -
6.2.3	取付け時点	- 30 -
7.	ASSY 部品の定義	- 31 -
8.	リユース部品の有効的な利用方法と事例集	- 38 -
8.1	新品部品との比較	- 38 -
8.1.1	ドアパネル	- 38 -
8.1.2	リヤゲートパネル	- 38 -
8.1.3	リビルト部品	- 38 -
8.2	ASSY での利用	- 39 -
8.3	利用事例集	- 42 -
8.3.1	フロント事故	- 42 -
8.3.2	左側面事故	- 43 -

## 1. リユース部品を利用するメリット

### 1.1 環境に優しい

リユース部品は「使用済自動車」から取り出される部品である。そのことから、新たな資源の投入を最小限に抑えた部品となり、循環型社会の構築に貢献している。その貢献を「CO2削減効果」で表わすと、1999年式の1500ccの車輻では図1-1のようになる。新品部品と比べて、大幅なCO2削減効果となっている。

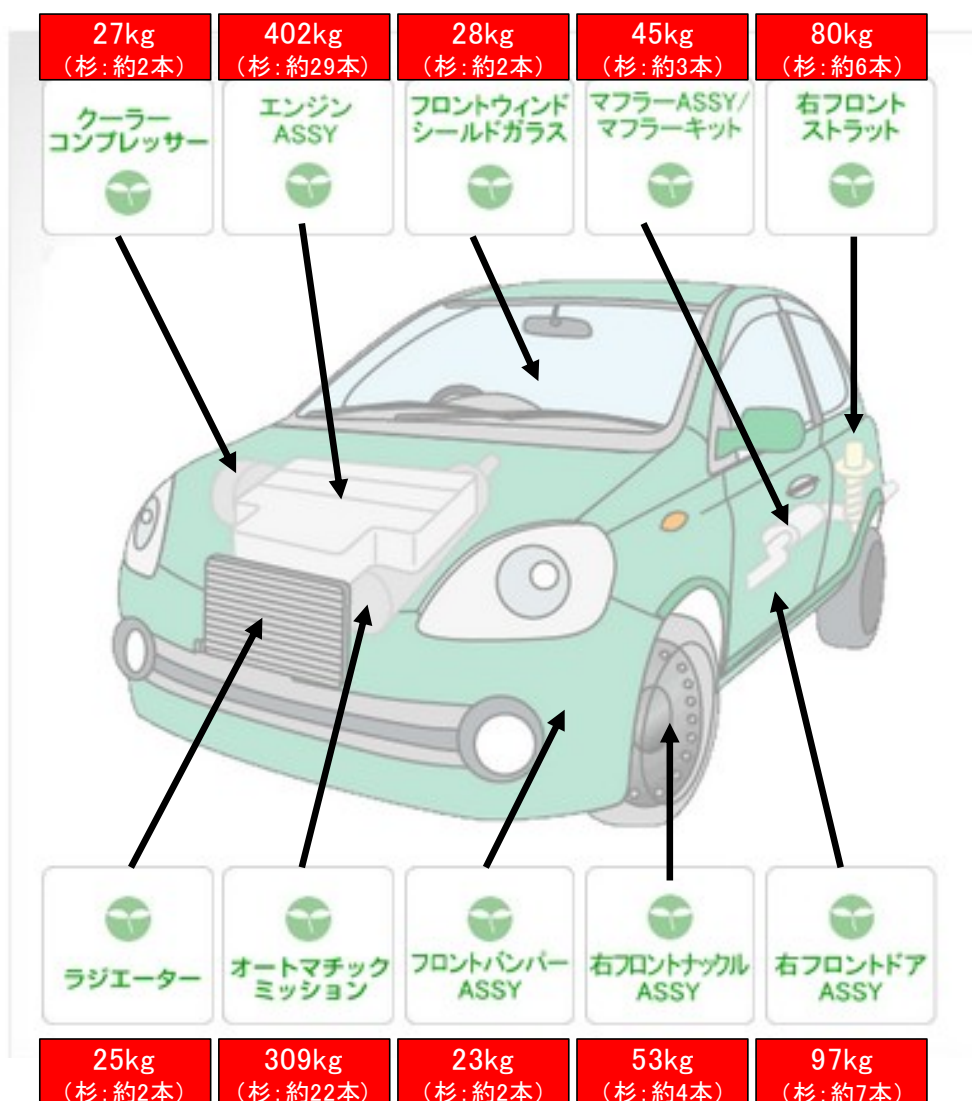


図 1-1 リユース部品の CO2 削減効果(1999 年式 1500cc)

\* 杉の木一本(杉の木は50年杉で、高さが20~30m) 当り1年間に平均して約14kgの二酸化炭素を吸収するとして試算しています。

## 1.2 現車に最も近いライン純正部品

自動車の修理には新品部品が使われることが多い。新品部品は、修理対象車輻と同じ製造ラインで造られるものではない。一方で、リユース部品は、使用済自動車から取り出されたものであるため、同じ製造ラインを通過して作られた部品である。そのため、修理する自動車に最も近い「ライン純正部品」である。

図 1-2 に示すドアを例にみると、新品部品ではドアノブなどの付属品はついておらず塗装もされていない。そのため、整備工場では付属部品の取り付けや下地から塗装が行われる。一方のリユース部品はドアノブなどの付属品がついており、塗装もされているため、表面を塗装し直すだけで利用できる。さらに、リユース部品は、修理対象車輻が製造されたラインで組み付けられたものであり、再取り付けはスムーズである。



図 1-2 新品部品とリユース部品の違い(ドアの場合)

## 1.3 安価な価格

部品や状態によって異なるが、リユース部品は新品部品と比べて一般的に 50%程度の価格となっている。修理依頼者の経済的負担を軽減することができる。

\* 全ての価格が一律ではないため参考価格となる。

## 1.4 工期の短縮

リユース部品には個別の部品だけでなく「ASSY 単位」の部品がある。ASSY 単位の部品は部品の組み上げ時間の短縮などによって工期を短縮することができる。

「ASSY」とは、新品部品であれば「個別」の部品として供給されるものが、リユース部品であれば、それらの「個別」の部品が「複数」組み合わさった状態のものを意味する。例えば「ドア ASSY」であれば「①ガラス②レギュレーター③P/W モーター④P/W スイッチ⑤内張り⑥プロテクター⑦ヒンジ⑧ロック ASSY⑨ハーネス」等の部品で構成されている。

## 2. リサイクル部品の定義と生産工程

リユース部品とリビルト部品を合わせてリサイクル部品と呼ばれることもあるが、本マニュアルでは「リユース部品」と総称することとする。ここでは、リユース部品とリビルト部品の定義や生産工程について記載する。

### 2.1 リユース部品とリビルト部品の違い

#### 2.1.1 リユース部品

リユース部品とは、使用済自動車から利用できる部品を取り外し、清掃・洗浄・目視・現車・テスターなどによる点検を行い商品化された再使用の部品である。この中には、品質保証・基準を設けて販売されるものもあれば、されないで販売されるものもある。一般社団法人日本自動車リサイクル部品協議会に加盟する部品供給団体は、品質基準・保証を統一化し、販売を行っている。

#### 2.1.2 リビルト部品

リビルト部品とは使用済自動車から取り外した部品や修理の際に発生した交換部品等をもとにして、磨耗・劣化した内部構成部品（インナーパーツ）を新品と交換し、再組み立てしテスター等を用いて品質確認を行い商品化された部品で、製造業者・販売業者の独自保証が付いているものである。

### 2.2 リユース部品とリビルト部品ができるまで

#### 2.2.1 リユース部品の生産工程

リユース部品の生産工程は図 2-1 の通りである。新車買い替え時に発生する中古車や廃車、全損事故車両等入手し、中古車であれば廃車処理をした上で、使用済自動車として適正に解体し、リユース部品として利用できる部位を取り、洗浄・検査を行い在庫して販売する。



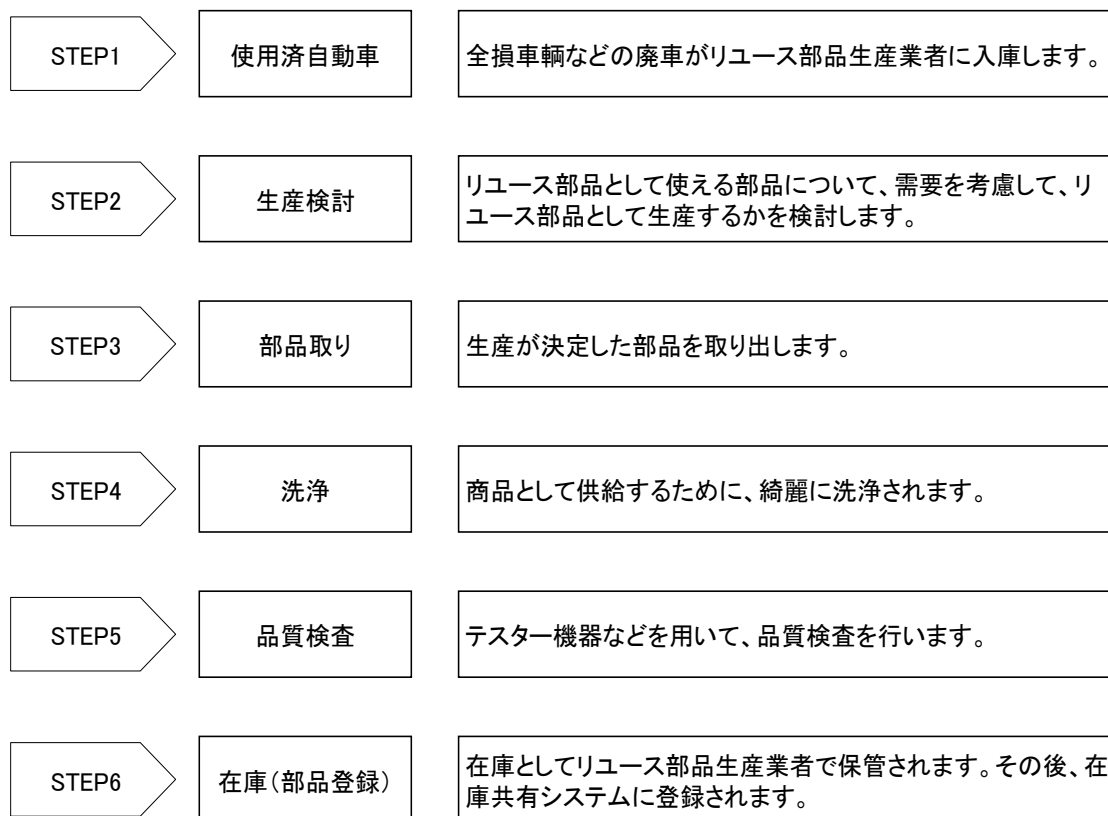


図 2-1 リユース部品の製造フロー

### 2.2.2 リビルト部品の生産工程

リビルト部品の生産工程は図 2-2 の通りである。リビルト部品の核となるコアの回収ルートは大きく分けて「使用済自動車から回収するもの」と「整備工場で修理の際に発生した交換部品から回収するもの」がある。またリユース部品として再使用できない部品もリビルト部品のコアとして使用する場合もある。また、コアが回収できない最新車両などの場合は、純正新品を購入、これを最初のコアとして回転させることもある。リビルト業者は回収したコアを分解・洗浄・検査して、磨耗している部品を新品に交換する。その後組み立てを行い、品質検査をしてリンク品として在庫し販売する。リンク品とは、納期の短縮の要望に応える為、あらかじめ修理(再生)しておいた部品で、このような代替供品(先だし出来る部品)を「リビルト部品(再生)」や「リンク品」と呼んでいる。



図 2-2 リビルト部品の製造フロー

### 3. リユース部品の品質基準と保証

#### 3.1 品質基準と保証の統一化の要請と必要性

##### 3.1.1 リユース部品における品質表示と保証内容に関するガイドラインの必要性

リユース部品に対する信頼を高め、利用促進を図るためには、部品の品質・保証の向上とともに、品質・保証に関する情報を整備事業者や消費者に提供し、リユース部品に対する認知度と信用を上げていくことが必要である。そのためには、品質表示ならびに保証内容に関するガイドラインを定め、これを広くアピールすることが必要である。

##### 3.1.2 品質表示及び保証内容に関するガイドラインの目的

リユース部品供給事業者は流通グループごとに独自の「品質基準・保証基準」を定め、品質検査を行って品質の向上と品質情報の共有化に努めているが、それらの情報は、整備事業者やユーザーに対して十分に提供されていないのが実状である。さらに、各グループでは独自の品質基準・保証基準を採用していることから、そのまま整備事業者やユーザーに情報提供が行われたとしても、異なる品質基準にもとづく情報が氾濫し、かえって混乱を招く恐れがある。

そこで、こうした既存の「品質基準」とは別に、リユース部品の品質表示および保証内容に関する業界共通の指針(ガイドライン)として「品質表示基準」「保証表示基準」を策定した。ここでは、業界統一の最低基準を定めることによって、リユース部品のユーザー向けに統一の情報を発信することを目的とした。リユース部品供給事業者はこれに従ってリユース部品を供給することが望ましく、最低基準に部品供給団体独自の付加基準を付与することで差別化を図るべきである。具体的には、部品を販売する際に検査証を付与するなどして品質情報を提供し、それにもとづく保証を付与することによって、整備事業者やユーザーが安心してリユース部品を購入・利用できる環境を作る。さらに、こうした品質表示ならびに保証内容に関する基準を定めることによって、リユース部品の品質・保証の比較を容易にし、市場の競争を促進することによって、リユース部品の利用促進を図る効果が期待できる。

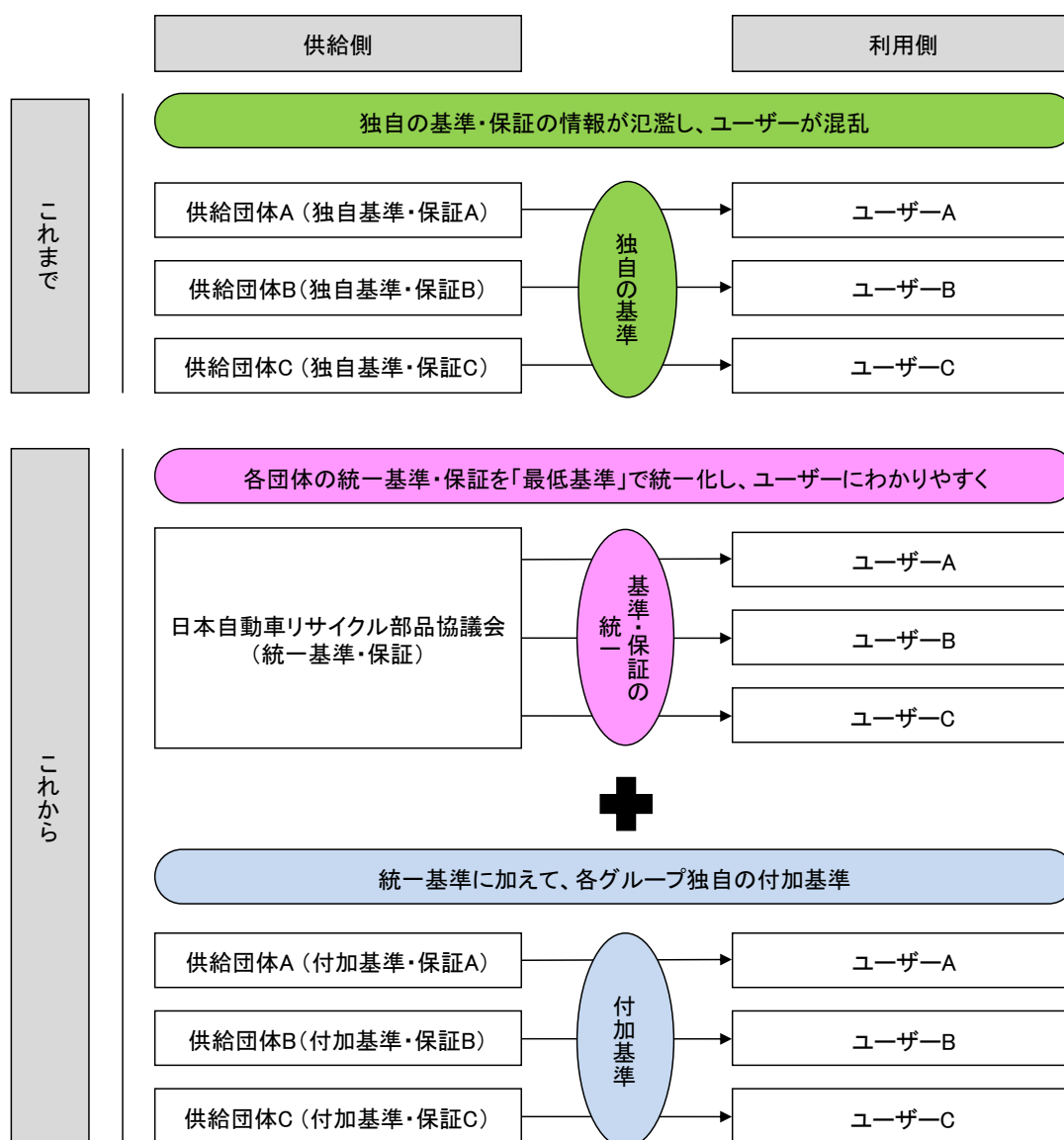


図 3-1 品質表示と保証内容に関するガイドラインの目的

### 3.2 リサイクル部品協議会統一品質検討基準

平成 10 年度補正事業「先進的情報システム開発実証事業」における協議会内部の検討会で、部品呼称の統合、品質検査手法の統一化等を図ったがこの時点での採用はならなかった。

平成 22 年 1 月の「自動車リサイクル法」見直しに伴う検討課題報告書の中で①リユース部品の利用促進の重要性②ネットワーク間の品質・保証の整合性が、一層の利用促進の要因になる等の指摘から、改めて品質・保証の業界としての統一化について協議会内に「品質・保証検討委員会」を立ち上げ議論を開始した。

平成 23 年 4 月、「自動車リサイクル部品の品質・保証基準の共通化」が完成、正式に発表し 5 月 15 日から全団体の実施とした。

表 3-1 エンジンの統一品質基準

測定条件	測定内容	測定上の留意点
車上作動テスト 及び検査機器チェック	①始動性	①良・否の選択
	②異音の有無	②有・無の選択
	③排気ガスの内容・色	③有・無の選択
	④ラジエーターへの吹き返し	④良・否の選択(ラジエーター内汚れ目詰りの確認)
	⑤オイル漏れの有無	⑤各箇所において有・無を確認
		・ヘッドカバーの確認
		・ヘッドガスケットの確認
		・オイルパンの確認
		・タイミングカバーの確認
		・フロントオイルシールの確認
	・リアオイルシールの確認	
	・プレッシャースイッチの確認	
	⑥アイドルリング、レーシングの状態	⑥良・否の選択
⑦ブローバイガスの状態	⑦良・否の選択	
⑧オイルの汚れ	⑧有・無の確認	
⑨スラッジの確認	⑨カバーを外し有・無の確認	
⑩カムシャフトの傷	⑩スラッジ確認に合わせて点検	
⑪水漏れ	⑪有・無の確認	
⑫外傷・欠品の確認	⑫有・無の確認	
※①～⑫の他、コンプレッションの測定値を把握することが望ましい		

表 3-2 トランスミッション(オートマチック)の統一品質基準

測定条件	測定内容	測定上の留意点
実走行テスト ※リフトテスト項目も行う	変速ショック、タイムラグ等すべての変速を確認	点検者の主観で判断します。全ての項目確認後に、①異常無し②不具合有と記入
リフトテスト  ※実走行テストができない場合	①すべての変速の滑らかさを確認	①暖機を十分に
	②オイルの量の確認	②良・否の選択
	③オイルの汚れの確認	③目視点検、金属粉等の確認
	④異音の有無	④有・無の確認
	⑤シフトレバーの動き	⑤良・否の選択
	⑥インプットシャフトのガタ	⑥有・無の確認
	⑦オイル漏れ	⑦にじみ含め有・無の確認
	⑧オイルパンのへこみ	⑧有・無の確認
	⑨インヒビタースイッチの作動	⑨良・否の選択
	⑩タイムラグテスト	⑩N-D及びN-Rの切替え時間(0.5 秒～1.5 秒以下)
	⑪油圧	⑪ライン圧、ガバナー圧を測定(油圧計を用いて計測している場合は数値記入)
	⑫ストールテスト (タコメーター装備車のみ)	⑫Dレンジ及びRレンジで行うこと 回転数(rpm)を測定、排気量によって多少異なるが(2000～3000rpm)
	⑬外傷、欠品の確認	⑬有・無の確認
※CVT搭載車についてもオートマミッションの測定に準ずる		

表 3-3 トランスミッション(マニュアル)の統一品質基準

測定条件	測定内容	測定上の留意点
実走行テスト * リフトテスト項目も行う	変速ショック、タイムラグ等すべての変速を確認	点検者の主観で判断します。全ての項目確認後に、①異常無し②不具合有と記入
リフトテスト * 実走行テストができない場合	①すべての変速の滑らかさを確認	①暖機を十分に
	②オイルの量の確認	②良・否の選択
	③オイルの汚れの確認	③目視点検、金属粉の確認
	④異音の有無	④有・無の確認
	⑤シフトレバーの動き	⑤良・否の選択
	⑥インプットシャフトのガタ	⑥有・無の確認
	⑦オイル漏れ	⑦にじみ含め有・無の確認
	⑧オイルパンのへこみ	⑧有・無の確認
	⑨外傷、欠品の確認	⑨有・無の確認

表 3-4 スターターモーター・セルモーターの統一品質基準

測定条件	測定内容	測定上の留意点
車上作動テスト	①プル・イン(ピニオンギアの飛び出し確認)	①良・否の選択
	②ホールディングコイルの維持(ピニオンギアのプレ)	②良・否の選択
	③異音の有無	③有・無の確認
単体テスト	①プル・イン(ピニオンギアの飛び出し確認)	①良・否の選択
	②ホールディングコイルの維持(ピニオンギアのプレ)	②良・否の選択
	③ピニオンギアの状態	③ギアの欠け等の有無確認
	④無負荷点検	④アンペア測定後、良・否の選択
	⑤シャフトのガタ	⑤有・無の確認
	⑥外傷、欠品の確認	⑥有・無の確認

表 3-5 オルタネーター・ダイナモの統一品質基準

測定条件	測定内容	測定上の留意点
車上作動テスト 及び検査機器チェック	①異音の有無	①有・無の確認
	②プーリーの振れ	②有・無の確認
	③シャフトのガタ	③有・無の確認
	④オイル漏れ	④にじみを含み有・無の確認
	⑤無負荷試験	⑤標準時12.4V以上で可
	⑥負荷試験	⑥高回転時のボルト上昇は不可



表 3-6 クーラーコンプレッサの統一品質基準

測定条件	測定内容	測定上の留意点
車上作動テスト 及び検査機器チェック	①オイル漏れ	①にじみを含め有・無の確認
	②オイルの汚れ	②有・無及び金属片等の確認
	③マグネットクラッチの作動	③良・否の確認
	④異音の有無	④有・無の確認
	⑤シャフトのガタ	⑤有・無の確認
	⑥クラッチの回転状態	⑥良・否の確認

表 3-7 パワステベーンポンプの統一品質基準

測定条件	測定内容	測定上の留意点
車上作動テスト	①オイルの量	①良・否の確認、汚れ具合も確認
	②オイルの漏れ	②にじみを含め有・無の確認
	③ステアリングの重さ	③良・否の確認
	④異音の有無	④有・無の確認
	⑤プーリーの振れ	⑤有・無の確認
	⑥シャフトのガタ	⑥有・無の確認
	⑦外傷、欠品の確認	⑦有・無の確認

表 3-8 ターボチャージャーの統一品質基準

測定条件	測定内容	測定上の留意点
車上作動テスト	①本体損傷の確認	①有・無の確認
	②スムーズな加速の確認	②良・否の確認
	③異音の有無	③有・無の確認
	④オイル漏れの有無	④白煙が出る場合は漏れ箇所確認
	⑤アクチュエーターの作動確認	⑤良・否の確認
	⑥インナープロペラの損傷、ガタ確認	⑥良・否の確認
	⑦ウォーターラインのさびの確認	⑦有・無の確認
	⑧オイルラインのスラッジの確認	⑧有・無の確認
	⑨本体エグゾースト側のクラック確認	⑨有・無の確認

表 3-9 噴射ポンプの統一品質基準

測定条件	測定内容	測定上の留意点
車上作動テスト	①本体損傷の確認	①有・無の確認
	②パッキング等からの燃料漏れ確認	②有・無の確認
	③スロットル内のさび、汚れの確認	③有・無の確認
	④異音の有無	④有・無の確認
	⑤回転を上げての検査の状態	⑤黒煙、白煙が出る場合は要確認

表 3-10 スロットル・ボディーの統一品質基準

測定条件	測定内容	測定上の留意点
車上演作動テスト	①本体損傷の確認	①有・無の確認
	②暖機前回転数と暖機後回転数確認 ※回転数に変化のない場合、ISCVの可能性異常、 またはウォーターライン目詰りの可能性あり	②良・否の確認
	③吹きあがりの確認	③良・否の確認
	④試験後、冷却水の気化を行う	④再確認
※近年のスロットル・ボディーは学習機能が付いている場合もあり、リセットしないと不調の原因になる		

### 3.3 統一保証

統一保証は全てのリユース部品が対象となっている。主要機能部品、準主要機能部品、足回り部品、電装部品、外装部品、内装部品ごとに記載する。なお、外装部品、内装部品の保証内容は同一である。

#### 3.3.1 主要機能部品(2品目)

(1) 対象部品

- ・ エンジン
- ・ トランスミッション

(2) 保証期間

- ・ 6ヶ月  
\*ただし 5,000km 以内

(3) 保証内容

- ・ 「代品交換」もしくは「返金(返品)」
- ・ 再組み換え工賃  
\*日整連の定める工数×レバレート

#### 3.3.2 準主要機能部品(7品目)

(1) 対象部品

- ・ セルモーター
- ・ オルタネーター
- ・ クーラーコンプレッサー
- ・ パワステベーンポンプ
- ・ ターボチャージャー
- ・ 噴射ポンプ
- ・ スロットル・ボディ

(2) 保証期間

- ・ 3ヶ月  
\*ただし、3,000 km以内

(3) 保証内容

- ・ 「代品交換」もしくは「返金(返品)」
- ・ 再組み換え工賃  
\*日整連の定める工数×レバレート

### 3.3.3 足回り部品

(1) 対象部品

- ・ 足回り部品  
    フロントストラット  
    ドライブシャフト 等

(2) 保証期間

- ・ 1ヶ月  
    \*ただし、1,000km 以内

(3) 保証内容

- ・ 「代品交換」もしくは「返金(返品)」

### 3.3.4 電装部品

(1) 対象部品

- ・ 電装部品  
    エンジンコンピュータ  
    クーラーコンデンサー 等

(2) 保証期間

- ・ 1ヶ月  
    \*ただし、1,000km 以内

(3) 保証内容

- ・ 「代品交換」もしくは「返金(返品)」

### 3.3.5 外装部品

(1) 対象部品

- ・ 外装部品  
    フロントバンパー  
    右フロントドア 等

(2) 保証期間

- ・ 現品確認期間 (商品到着後 1 週間)

(3) 保証内容

- ・ 「代品交換」または「返金(返品)」

### 3.3.6 内装部品

#### (1) 対象部品

- ・ 内装部品  
    右フロントシート  
    コンソール BOX 等

#### (2) 保証期間

- ・ 現品確認期間（商品到着後 1 週間）

#### (3) 保証内容

- ・ 「代品交換」または「返金(返品)」

## 4. リユース部品の商流

### 4.1 リユース部品供給団体の位置づけ

#### 4.1.1 一般社団法人 日本自動車リサイクル部品協議会

##### (1) 概要

一般社団法人日本自動車リサイクル部品協議会は、自動車補修用のリユース部品、リビルド部品の流通に携わる全国の部品供給業者12団体500企業(平成25年3月現在)によって構成された日本を代表する連合組織である。

平成7年(1995年)11月に日本自動車リサイクル部品販売団体協議会として発足、平成22年(2010年)11月に一般社団法人日本自動車リサイクル部品協議会に改組した。国が定めた「循環型社会形成推進基本法」「資源の有効な利用の促進に関する法律」及び「使用済自動車の再資源化等に関する法律」に基づき、行政及び関連業界との窓口としての役割と、リサイクル部品の普及促進を活動の主目的としている。ユーザーへの良質・廉価な商品の安定・継続的供給に努力することにより、資源の有効利用と環境保全への国家的要請に応え、業界の社会的責任の遂行と地位の向上に寄与する。

平成15年(2003年)には、早稲田大学環境総合研究センターとの産学共同研究を開始、「リサイクル部品を利用することによる環境負荷(CO2排出量)低減」の数値化に取り組み、平成19年(2007年)5月には、これをデータベース化するとともに「グリーンポイントシステム」と命名、早稲田大学環境総合研究センターとともに記者発表を行った。

##### (2) 具体的な取組み

- ① リサイクル部品活用普及のため行政及び関連諸団体との情報交流
- ② リサイクル部品の品質・保証管理等の社会的評価の向上と利用を促進させるための活動
- ③ 自動車整備工場へのリサイクル部品迅速・安定供給のための活動
- ④ 一般ユーザーを含めたリサイクル部品の認知度向上のための活動
- ⑤ 業界の発展、地位向上と後継者育成に関わる活動
- ⑥ 環境問題を含め業界として対処すべき課題への対応活動

### (3) 加盟団体

一般社団法人日本自動車リサイクル部品協議会には、図 4-1 に示した 12 の部品供給団体が加盟しており、参画業者数は 562 となっている。

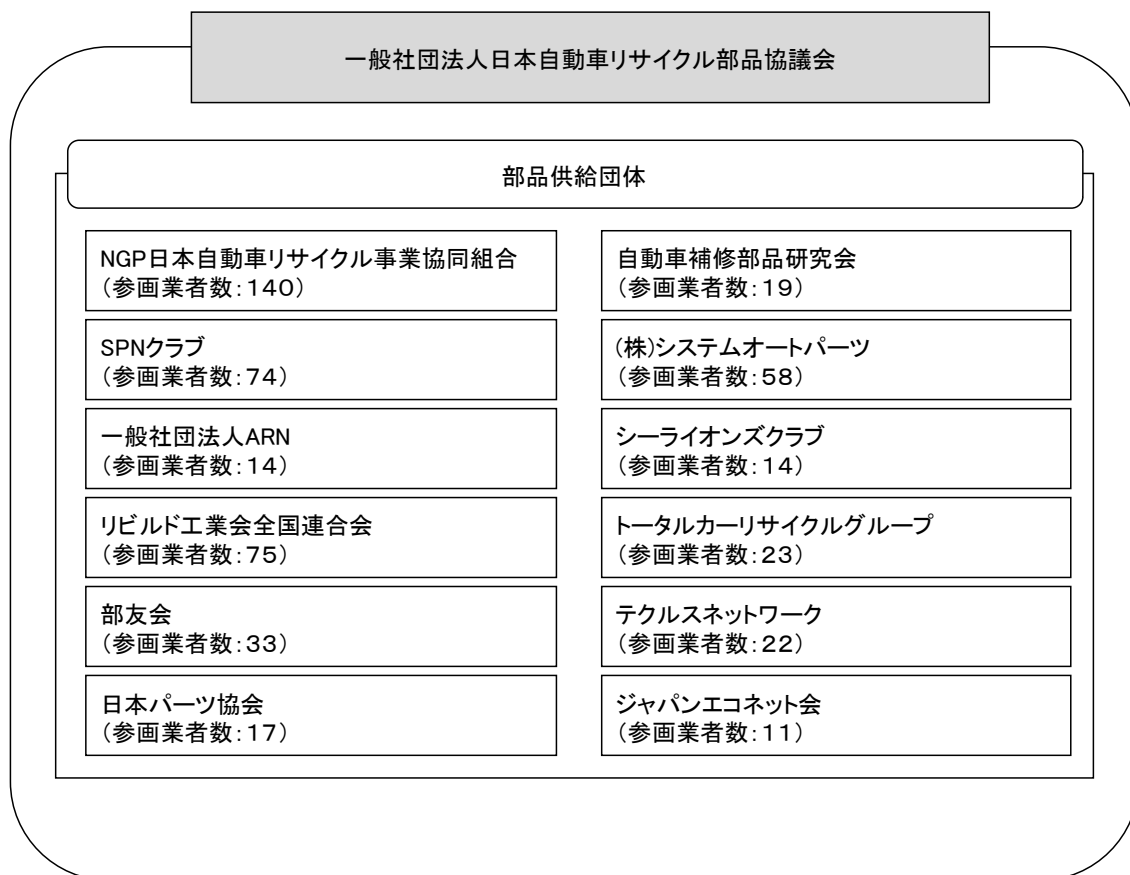


図 4-1 日本自動車リサイクル部品協議会の概要

### (4) グリーンポイントクラブ

グリーンポイントクラブは、日本自動車リサイクル部品協議会の環境活動を行う部隊として組織され、図 4-2 のとおり、前述の 12 団体に加えて、ビッグウェーブ、エコライン、トラックリファインパーツ協会の 3 団体が加盟している。



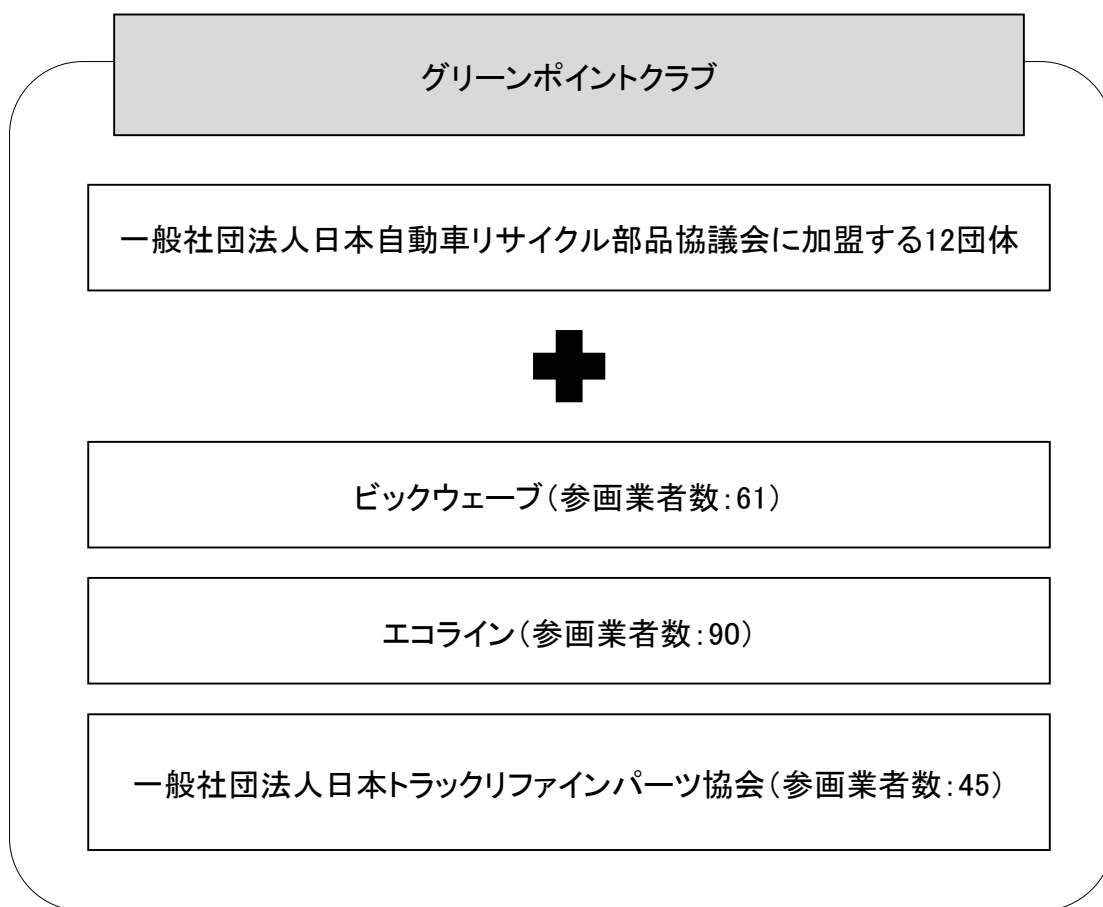


図 4-2 グリーンポイントクラブ概要

## 4.2 在庫共有システムとは

### 4.2.1 概要

各部品供給団体は、インターネットを活用した部品流通ネットワークシステムとして在庫共有システムを構築し、各事業所相互の部品流通を活性化させ、利便性を向上し部品流通の拡大を図っている。リユース部品の流通において自社在庫では賄いきれない注文に対してネットワークの中の在庫商品で対応する事が出来るシステムである。部品供給業者は所属している団体の在庫共有システムに自社の在庫を登録している。最近では、各システムの共有在庫を繋げたクラウド化も進んでいる。

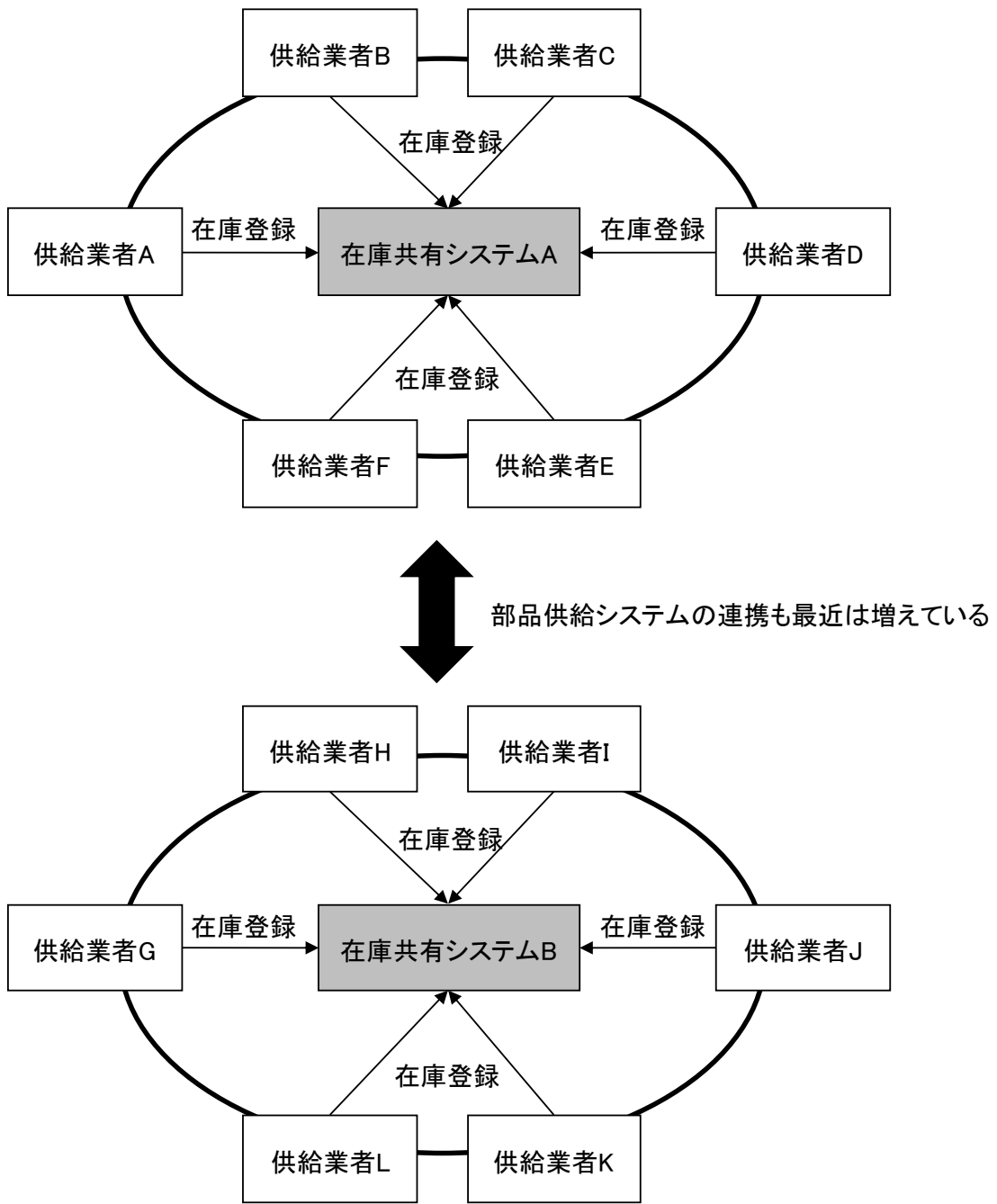


図 4-3 在庫供給システムのイメージ

#### 4.2.2 各部品供給団体の部品共有システム

日本自動車リサイクル部品協議会に加盟する部品供給団体では、図 4-4 の通りの在庫共有システムを利用している。

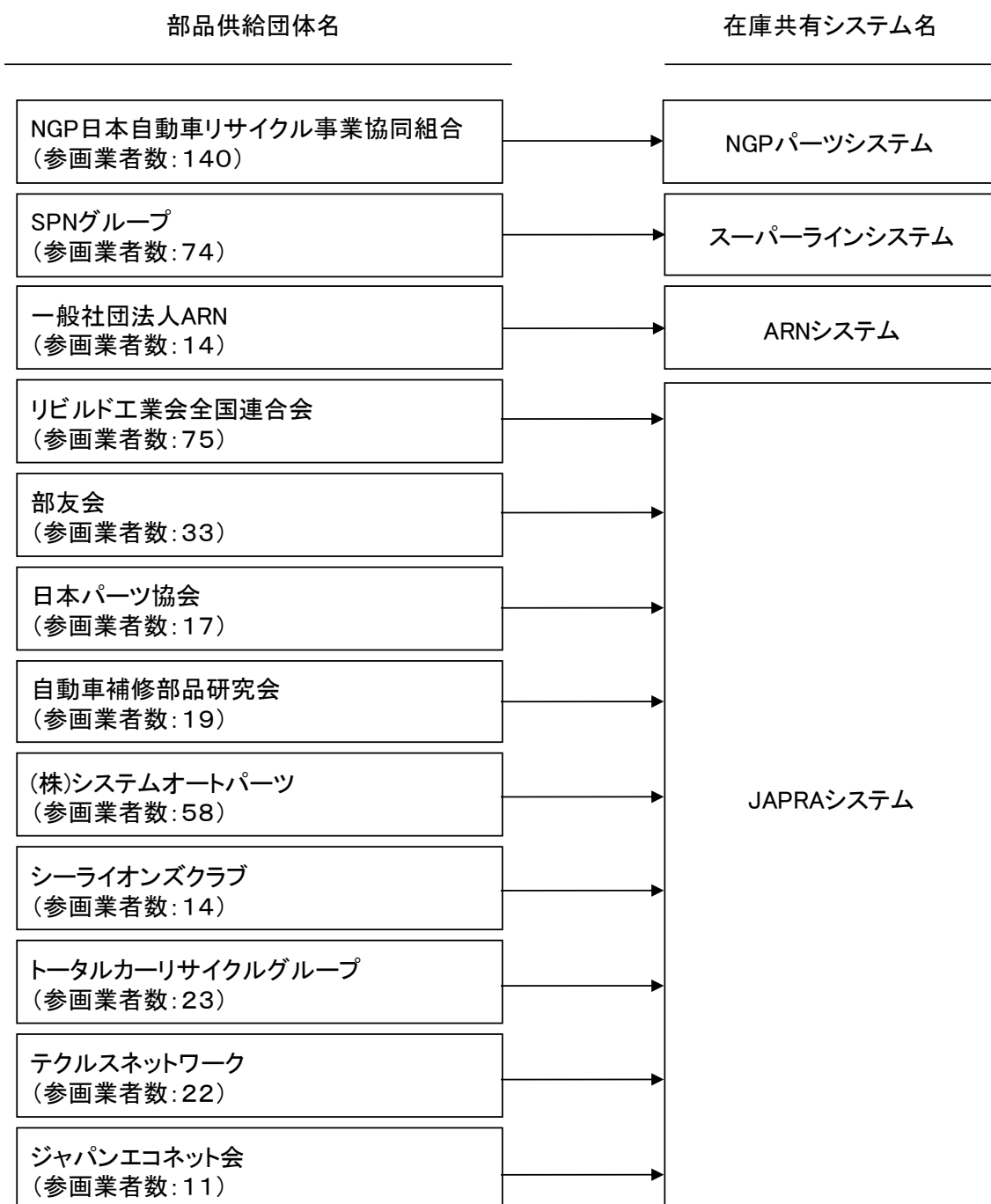


図 4-4 各部品供給団体と在庫供給システムの関係

#### 4.2.3 システムに入力される情報

在庫共有システムには図 4-5 の通り情報が入力される。全ての部品共通で「車輻情報」が入力される。次に、外装・内装部品では、キズの詳細が画像と共に登録される。一方で、エンジンや足回り部品などの機能部品では、走行距離や検査情報が登録される。

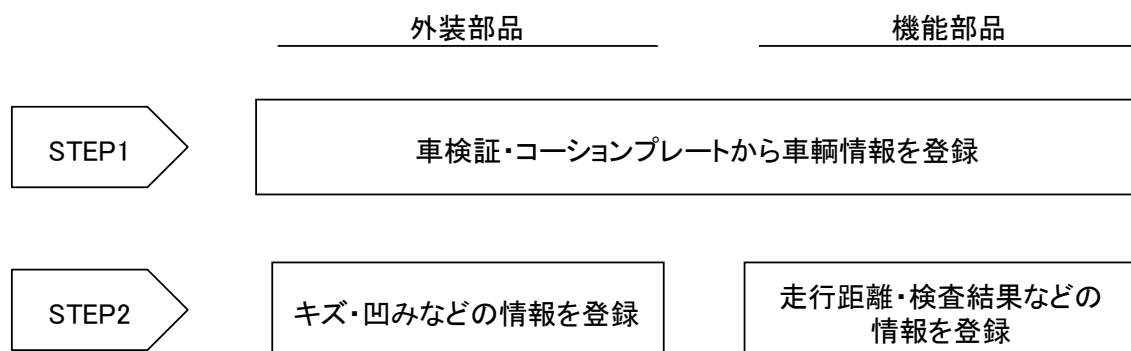


図 4-5 在庫共有システムの情報登録フロー

##### (1) 車輻情報

車輻情報はコーションプレートと自動車車検証から得られる情報が入力される。

具体的にはコーションプレートから「型式フルモデル」「カラーナンバー」「車台番号」の情報を得る。

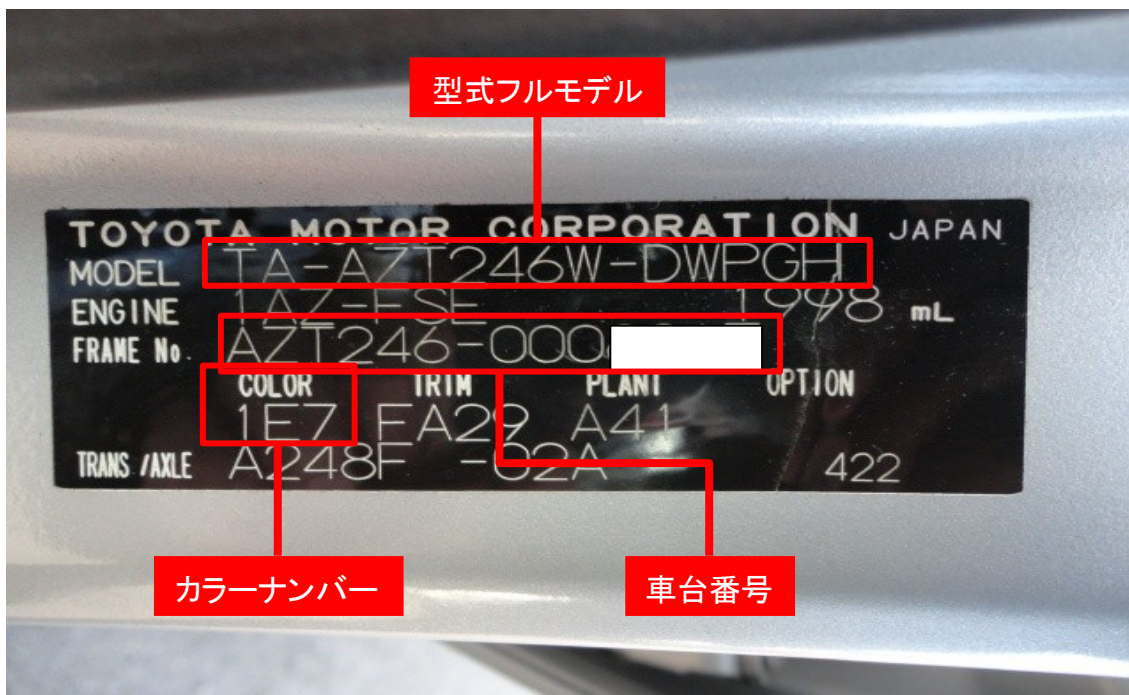


図 4-6 コーションプレートと登録する情報

自動車車検証からは「初度登録年月」「車名」「車台番号」「型式」「エンジン型式」「燃料種別」「型式指定番号」「類別区分番号」が入力される。

自動車検査証

初度登録年月

車名

車台番号

型式

原動機の型式 (エンジン型式)

燃料の種類

型式指定番号

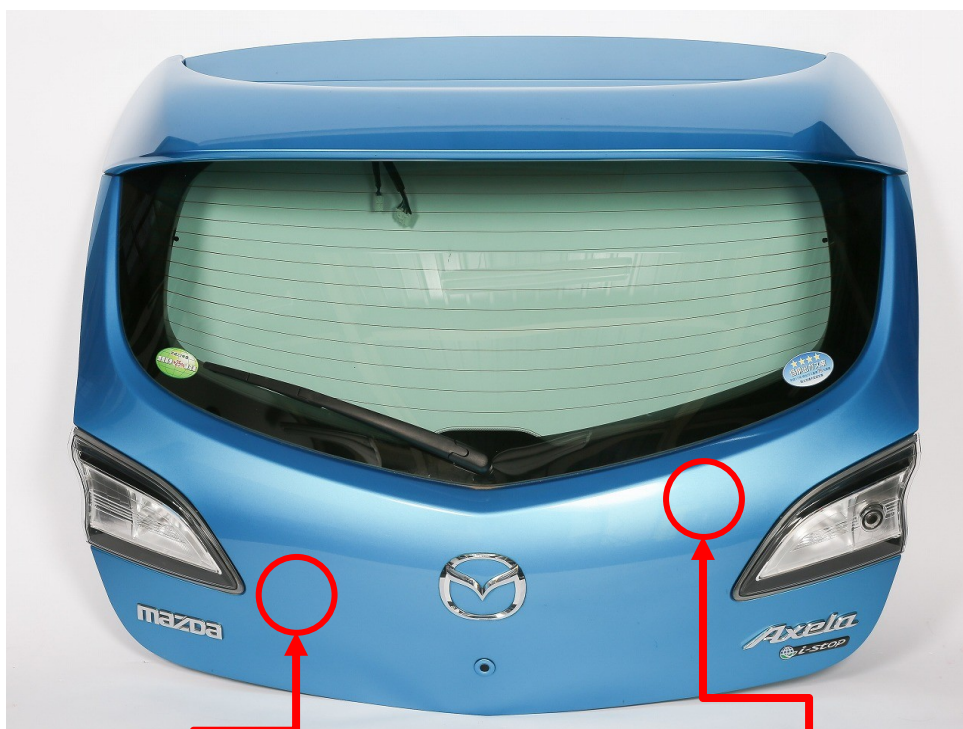
類別区分番号

自動車登録番号又は車両番号	登録年月日/交付年月日	初度登録年月	自動車の種別	用途	自家用・事業用の別	車体の形状
金沢 530 さ 6	平成 20年 1月 16日	平成 20年 1月 16日	小型乗車			[001]
ニッサン			長			1020mm 1295mm
BNK12-			389mm	166mm	153mm	630mm 390mm
LA-BNK12			CR14	1.38	ガソリン	1156 000
所有者の氏名又は名称						[17500]
所有者の住所						
使用者の氏名又は名称						
使用者の住所						
使用の本拠の位置						
有効期間の満了する日						

図 4-7 自動車車検証と登録する情報

(2) 外装部品

外装部品であるバンパー、ボンネット、ドアなどではキズの詳細を画像と言語でわかりやすく登録している。



塗装ハゲ 2ミリX2ミリ

へこみ 10ミリX15ミリ

図 4-8 外装部品の登録情報

### (3) 機能部品

機能部品とは車を正常に動かす(走る、曲がる、止まる)部品のことを言う。エンジン、ミッション、ダイナモ、デフホーシングなどが代表例である。機能部品については走行距離が登録される。

エンジンの場合は、始動性・アイドリング状態などの情報が登録される。また機能部品9品目(エンジン、ミッション、セルモーター、オルタネーター、クーラーコンプレッサー、パワステベーンポンプ、ターボチャージャー、噴射ポンプ、スロットル・ボディー)の検査結果も登録される。このときの検査方法も登録される。

## 4.3 注文方法

### 4.3.1 問合せから納品までのフロー

リユース部品の問合せから納品までのフローは図 4-9 の通りである。整備工場からの在庫問合せは「電話」又は「FAX」で行われる(STEP1)。注文用紙の書き方は後述する。その情報を基に、問合せを受けたリユース部品供給業者は自社在庫を検索し、

そこになかった場合は、加盟している部品供給団体の在庫共有システムを用いて、ネットワークに登録された部品から検索を行う(STEP2)。次にその結果を、整備工場に「電話」又は「FAX」で行う(STEP3)。整備工場では、複数社からの回答結果を比べ、最終的に発注を行う(STEP4)。注文を受けたリユース部品供給業者に在庫がある場合は、そこから整備工場に出荷される(STEP6)。一方で、在庫共有システムに登録された在庫を利用する場合、注文を受けたリユース部品供給業者は在庫を保有する供給業者に依頼し(STEP5)、当該在庫を保有する供給業者から整備工場にリユース部品が出荷される(STEP6)。

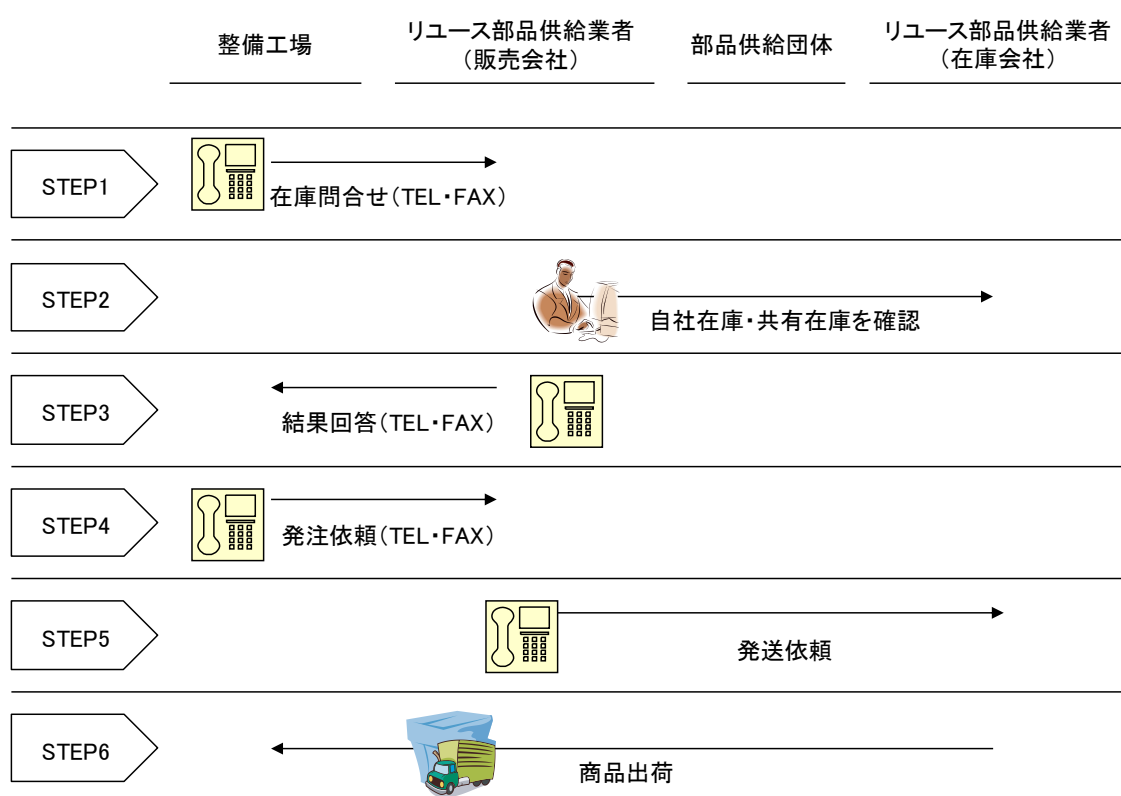


図 4-9 リユース部品の問合せから納品までのフロー



### 4.3.2 問合せ・注文書の書き方

整備工場からリユース部品の手合せ・注文を行う際は、図 4-10 のような指定の書類に必要な情報を記載する。

年 月 日

**FAX 在庫問合せ・注文書**

	問合せ	注文
--	-----	----

リサイクル部品取扱業者 行 **配信元** ○○○自動車整備工場

FAX ○○○-○○○○ TEL ○○○-○○○○

TEL ○○○-○○○○ FAX ○○○-○○○○

車名	年式(初年度登録年月) 年 月	認定型式	車台番号
型式指定番号	類別区分番号	カラーNo.(COLOR)	現在の走行距離
フルモデル型式(MODEL) / グレード	トリムNo.(TRIM)	ABS	付・無
エンジン型式(ENGINE)	ミッション型式(TRANS)	SRS	付・無
アクスル型式(AXLE)	その他オプション装備等		
部品名	在庫	回答欄(状態)	価格 納期 注文日
	有・無		日後
	有・無		日後
	有・無		日後
	有・無		日後
	有・無		日後
	有・無		日後
	有・無		日後

※提示価格に消費税は含まれておりません。

図 4-10 問合せ・注文書のサンプル

必要な情報は「コーションプレート」「自動車車検証」に記載されている。具体的な書き方は図 4-11 の通りである。なお、最低限必要な情報は表に示す通りである。

表 4-1 最低限必要な情報

項目	具体例
初度登録年月	平成 11 年 4 月
車名	ホンダ(HRV)
型式	GF-GH2
車台番号	1007040
型式指定	09159
類別番号	0001



自動車検査証

平成 20 年 1 月

石川運輸支局長

自動車登録番号又は車両番号	登録年月日/交付年月日	初年度登録年月	自動車の種別	用途(自家用・事業用の別)	車体の形状
金沢 530 さ	平成 20 年 1 月	平成 19 年 8 月	小型	乗用 自家用	箱型 [001]
車名	車台番号	長さ	幅	高さ	前前軸重 前後軸重 後前軸重 後後軸重
ニッサン	[213]	369	166	153	1020 1295
型式	車台型式	駆動機の型式	総排気量又は総排気量	燃料の種類	型式指定番号 類別区分番号
LA-BNXY12	CR14	1.38	ガソリン	11565	000
所有者の氏名又は名称	所有者の住所	使用者の氏名又は名称	使用者の住所	使用の本拠の位置	有効期間の満了する日
	石川県金沢市				平成 21 年 8 月
備考 [石川]、移転登録 平成22年度燃費基準達成車 [走行距離計表示値] km (平成19年8月日) 平成10年騒音規制車 以下余白					

FAX! 在庫問合せ・注文書

問合せ 注文

リサイクル部品取扱業者 行 配信元 ○○○自動車整備工場

FAX ○○○-○○○○ TEL ○○○-○○○○ TEL ○○○-○○○○ FAX ○○○-○○○○

車名	年式(初年度登録年月)	認定型式	車台番号
	年 月		
型式指定番号	現在の走行距離	ABS 付・無	
フルモデル型式(MODEL)	クレジット	ISRS 付・無	機能部品の在庫問合せ時には、走行距離の記入をお願いします。
エンジン型式(ENGINE)	ミッション型式(TRANS)	アックスル型式(AXLE)	その他オプション装備等

部品名	在庫	回答欄(状態)	価格	納期	注文日
	有・無			日後	
	有・無			日後	
	有・無			日後	
	有・無			日後	
	有・無			日後	
	有・無			日後	

※提示価格に消費税は含まれておりません。

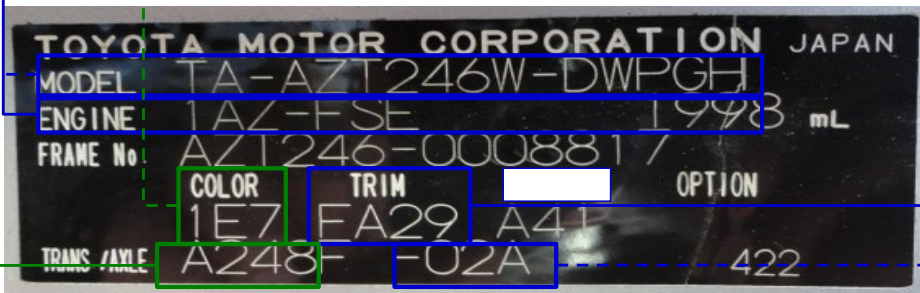


図 4-11 問合せ・注文書の書き方

## 5. リユース部品の供給量

リユース部品の在庫については、平成 23 年度「環境省自動車リサイクル連携高度化事業」において、一般社団法人日本リサイクル部品協議会が調査を行った。リユース部品は、使用済み自動車から生産される。そのため、そもそもの使用済み自動車の発生台数が、リユース部品の供給量に大きく影響を与える。

### 5.1 高年式車輜

高年式車輜が解体業者に入庫されるのは、事故による全損車輜が多くなる。しかし、そもそも全損車輜の発生が少なく、供給量は少ない。また、全損車輜であるために、フロント部品の損傷が大きい。そのため、供給量は少ないが、フロント部品に比べてリア部品の供給可能量は多くなる。平成 23 年度「環境省自動車リサイクル連携高度化事業」の調査では、リユース部品の需要に対して数%の供給能力となっているのが現状である。

### 5.2 中年式車輜

高年式車輜と比べれば供給量が増えるが、同様に需要を全て満たすほどの供給量はない。しかし、高年式車輜と比べ、需要に対する供給量は 2 倍以上になっており、リヤゲート、フロントドア、テールランプなど、フロント部品以外については、需要に近い供給能力になっている。

### 5.3 低年式車輜

低年式車輜では、解体業者に入庫される使用済み自動車に占める全損車輜の割合が低くなり、供給量は大きくなっている。フロント部品を除けば、需要を満たす供給能力を持っている。

### 5.4 供給量の拡大に必要な取組み。

リユース部品の供給量を拡大していくためには、「スクラップされている使用済み自動車からまだ使える部品を積極的に取り出すこと」「海外に流れている車輜などの国内海外業者への入庫」が挙げられる。こうした状況を作り出していくためには、使用済自動車の発生からリユース部品の利用を一体的に捉え、そこに関わる業者の経済的メリットを明らかにしていくことも必要である。

## 6. リユース部品とリビルト部品の利用で注意すべき点

### 6.1 リユース部品

#### 6.1.1 注文時点

外装部品は、グレードやディーラオプションの有無により仕様が違う為、現車及び仕様を確認する。

#### 6.1.2 到着時点

リユース部品が到着したら必ず箱から取り出し商品のチェックをおこなう。万が一破損、その他不具合があれば注文先部品業者に連絡をとる。

#### 6.1.3 取付け時点

エンジンは補機類が装着されていることが多いが、動作確認等をおこない必要に応じて交換をする。

外装部品は塗装前に仮付けし形状等を確認したうえで作業をする。

### 6.2 リビルト部品

#### 6.2.1 注文時点

リユース部品と同じ。

#### 6.2.2 到着時点

リビルト部品が到着したら必ず箱から取り出し商品のチェックをおこなう。万が一破損、その他不具合があれば注文先部品業者に連絡をとる。

リビルト商品が到着後一週間を目安に、送られてきた箱に取り換えられた部品を梱包して、コアの返却(返却用の送り状が同送されている場合が多い)をおこなう。返却がないときはコアの代金を支払わなければならない場合がある。

#### 6.2.3 取付け時点

必ずリビルト部品に同梱されている説明書に従って取り付ける。

## 7. ASSY 部品の定義

リユース部品の特徴の一つであるASSYの定義は表 7-1 の通りである。部品供給団体によって異なる場合もあるが、一般的なASSYに含まれる部品を記載している。

表 7-1 ASSY の定義

部位	Assy	部品名
フロント外装部品	フロントバンパー	フロントバンパーAssy
		フロントバンパーフェイス
		フロントバンパーリーンホースメント
		フロントバンパーエネルギーアブソーバー
		フロントバランスパネル
	ボンネットフード	ボンネットフード
		ボンネットショック
		フードロックブレース
	右ヘッドライト/ランプ	右ヘッドライト
		右ヘッドライトリム/リンケージ
		右リトラクターモーター
		右ライトキセノンアンプ
	右フロントフェンダー	右フロントフェンダーパネル
		右フロントフェンダーライナー
		右フロントオーバーフェンダー
		右フロントインナーフェンダー
		右フロントフェンダーミラー
		右フロントマッドガード
	左ヘッドライト/ランプ	左ヘッドライト
		左ヘッドライトリム/リンケージ
		左リトラクターモーター
		左ライトキセノンアンプ
	左フロントフェンダー	左フロントフェンダーパネル
		左フロントフェンダーライナー
		左フロントオーバーフェンダー
		左フロントインナーフェンダー
		左フロントフェンダーミラー
左フロントマッドガード		

部位	Assy	部品名
右側面外装部品	右ドア	右ドア Assy
		右ドアガラス
		右ドアミラー
		右ドアレギュレーター
		右ドア P/W モーター
		右ドア P/W スイッチ
		右ドア内張り
		右ドアプ°ロテクター
		右ドアオートロックソレノイド
	右フロントドア	右フロントドア Assy
		右フロントドアガラス
		右フロントドアレギュレーター
		右フロントドア P/W モーター
		右フロントドア P/W スイッチ
		右フロントドア内張り
		右フロントドアプロテクター
		右フロントドアオートロックソレノイド
	右リアドア	右リアドア Assy
		右リアドアガラス
		右リアドアレギュレーター
		右リア P/W モーター
		右リア P/W スイッチ
		右リア内張り
		右リアドアプロテクター
		右リアドアオートロックソレノイド
	右スライドドア	右スライドドア Assy
		右スライドドアガラス
		右スライドドアレギュレーター
		右スライドドア P/W モーター
		右スライドドア P/W スイッチ
		右スライドドア内張り
		右スライドドアプロテクター
右スライドドアオートロックソレノイド		

部位	Assy	部品名
右側面外装部品	右リアフェンダー/クォーターパネル	右リアフェンダー/クォーターパネル
		右リアオーバーフェンダー
		右リアマッドガード
左側面外装部品	左ドア	左ドア Assy
		左ドアガラス
		左ドアミラー
		左ドアレギュレーター
		左ドア P/W モーター
		左ドア P/W スイッチ
		左ドア内張り
		左ドアプロテクター
		左ドアオートロックソレノイド
	左フロントドア	左フロントドア Assy
		左フロントドアガラス
		左フロントドアレギュレーター
		左フロントドア P/W モーター
		左フロントドア P/W スイッチ
		左フロントドア内張り
		左フロントドアプロテクター
		左フロントドアオートロックソレノイド
	左リアドア	左リアドア Assy
		左リアドアガラス
		左リアドアレギュレーター
		左リア P/W モーター
		左リア P/W スイッチ
		左リア内張り
		左リアドアプロテクター
		左リアドアオートロックソレノイド

部位	Assy	部品名
左側面外装部品	左スライドドア	左スライドドア Assy
		左スライドドアガラス
		左スライドドアレギュレーター
		左スライドドア P/W モーター
		左スライドドア P/W スイッチ
		左スライドドア内張り
		左スライドドアプロテクター
		左スライドドアオートロックソレノイド
		左サイドガラス
	左リアフェンダー/ クォーターパネル	左リアフェンダー/クォーターパネル
		左リアオーバーフェンダー
		左リアマッドガード
	バック外装部品	リアゲート/バックドア
リアゲートミラー		
リアゲートオートロックソレノイド		
リアウインドシールドガラス/バックウインドガラス		
右テールランプ/ リアコンビネーションランプ		右テールランプ
		右テールランプ(内側)
左テールランプ/ リアコンビネーションランプ		左テールランプ
		左テールランプ(内側)
リアバンパー		リアバンパーAssy
		リアバンパーフェイス
		リアバンパーリークホースメント
		リアバンパーエネルギーアブソーバー
		リアバランスパネル (リアアッパースカート/リアバンパーフィラー)
		リアアンダースポイラー
スペアタイヤキャリア		スペアタイヤキャリア
		スペアタイヤケース/カバー

部位	Assy	部品名
ルーフ外装部品	サンルーフ/ムーンルーフ	サンルーフ/ムーンルーフ Assy
		サンルーフガラス
		サンルーフレールモーター
	スカイルーフ	スカイルーフガラス
		右フロントスカイルーフガラス
		右センタースカイルーフガラス
		右リアスカイルーフガラス
		左フロントスカイルーフガラス
		左センタースカイルーフガラス
		左リアスカイルーフガラス
エンジン部品	エンジン Assy	エンジン Assy
		シリンダーヘッド
		シリンダーヘッドカバー
		シリンダーブロック
		オイルパン
		カムシャフト
		クランクプーリー
		クランクシャフト
		フライホイール
		クランク角センサー
		ターボチャージャー
		スーパーチャージャー
		エキゾーストマニホールド
		オーツセンサー
		インテークマニホールド
		スロットルボディ
		ISC バルブ
	ラジエーター	ラジエーター
		シュラウド
		ファンモーター



部位	Assy	部品名
排気系部品	マフラーAssy/マフラーキット	センターマフラー
		センターパイプ
		リアマフラー
		リアパイプ
		触媒コンバーター
T/M部品	マニュアルトランスミッション	マニュアルトランスミッション
		クラッチカバー
デフ・走行部品	フロントアクスル	フロントアクスル/ホーシング Assy
		フロントアクスルハウジング/ホーシングケース
		フロントディファレンシャルギア
	リアアクスル	リアアクスル/ホーシング Assy
		リアアクスルハウジング/ホーシングケース
		リアディファレンシャルギア
	右フロントナックル	右フロントナックル Assy
		右フロントキャリパー
		フロントディスクローター
	右リアナックル	右リアナックル Assy
		右リアキャリパー
		リアディスクローター
	左フロントナックル	左フロントナックル Assy
		左フロントキャリパー
	左リアナックル	左リアナックル Assy
		左リアキャリパー
	ブレーキマスター	ブレーキマスターAssy
		ブレーキマスターシリンダー
		ブレーキマスターバック

部位	Assy	部品名
懸架部品	右フロントストラット	右フロントストラット Assy
		右フロントストラット
	右リアストラット	右リアストラット Assy
		右リアストラット
	左フロントストラット	左フロントストラット Assy
		左フロントストラット
	左リアストラット	左リアストラット Assy
		左リアストラット

各団体ごとに定める個別の ASSY 定義については、上記 ASSY 定義を基に若干の付加が加わっている場合もありますのでご注意ください。

## 8. リユース部品の有効的な利用方法と事例集

### 8.1 新品部品との比較

#### 8.1.1 ドアパネル

新品部品は下地も塗装がされておらず、付属品もついていない。一方で、リユース部品は塗装がされており、付属品もついている。このためリユース部品は付属品を有効活用できるとともに同色の場合は、塗装工程が簡略化できる。



新品部品



リユース部品

図 8-1 ドアパネルの新品部品とリユース部品の比較

#### 8.1.2 リヤゲートパネル

新品部品は下地も塗装がされておらず、付属品もついていない。一方で、リユース部品は塗装がされており、付属品もついている。特にリヤゲート ASSY は装備には「ガラス」「スポイラー」「カメラ」等の付属品がついていることもある。



新品部品



リユース部品

図 8-2 リヤゲートパネルの新品部品とリユース部品の比較

#### 8.1.3 リビルト部品

摩耗する部品がある場合は、リビルト部品が有効である。価格はリユース部品よりも高

くなるが、構成部品を補修されたり、新品部品と交換されたりしているために、市場での信頼性が高まっている。

## 8.2 ASSY での利用

リユース部品の有効な利用方法として、ASSY 単位での利用が挙げられる。

表 8-3 に利用方法を整理した。表中では、低年式、中年式、高年式に区分し、特に ASSY での利用が有効な年式には「◎」を記載している。

- ・高年式:新車販売日～5年
- ・中年式:6年～10年
- ・低年式:11年～

表 8-3 ASSY の有効的な利用方法(1/2)

高年式	中年式	低年式	部品名	コメント
◎	◎	◎	フロントバンパー	ASSYとしてホースメントがついており事故でホースメントまで衝撃があれば有効。その他装備としてソナー、フォグランプなどがついている商品もあり有効。
	◎	◎	ボンネットフード	エアーダクト、モール付きもあり、同色であればボンネット裏側の塗装をしなくてもよい場合がある。
	◎	◎	ヘッドライト	HIDタイプには、コンピューター等が付帯するのでASSYでの交換の場合はお得。また、経年劣化に伴うレンズの色も近い物で合わせられる。
◎	◎	◎	ドア	基本的にガラス、レギュレーターその他付属部品がついており、また同色であれば裏面の塗装費用の削減につながる。
	◎	◎	フロントガラス	新品はかなり高額に対してリユースガラスはかなりお得。リユース部品は純正である(メーカーのマークが入らない社外品を嫌がるお客様もいる)
◎	◎	◎	リヤゲート	ASSYとしてガラスは基本的に付いている。また、ガラスまで割れているのであればリユース部品は有効である。
	◎	◎	テールランプ	年式の近いリユース部品があれば左右の劣化状態の色バランスが取れるため違和感がない。
	◎	◎	トランクリッド	スポイラー、モール、エンブレム、ロック ASSY 等が付いているリユース部品を手配できれば納期短縮になる

表 8-3 ASSY の有効的な利用方法 (2/2)

高年式	中年式	低年式	部品名	コメント
◎	◎	◎	エンジン	ASSYとしてエキゾーストマニホールド、インテークマニホールドその他がついている。装備としてはウォーターポンプ、スロットル・ボディー、キャブ、インジェクター、タービン、またディーゼルエンジンについては噴射ポンプが付いているリユース部品が多い。載せ替え時間を短縮できる。 ※装備補機類は保証対象外
◎	◎	◎	ミッション	ASSYとしてATミッションにはトルクコンバーターが装着。
	◎	◎	ACコンプレッサー	クラッチ、プーリーも付帯している為、新品に対して安価。情報として走行距離の確認も可能。
	◎	◎	スピードメーター	故障によりメーター交換される場合、走行距離の近い商品を選ぶことにより以前のスピードメーターとの走行誤差を少なくできる事が可能。
	◎	◎	セルモーター	新品に対して安価。情報として走行距離の確認も可能。
	◎	◎	ダイナモ	新品に対して安価。情報として走行距離の確認も可能。
◎	◎	◎	ストラット	ASSYとしてコイルスプリング、ナックルハブ、ディスクローター、ブレーキキャリパー等がついている。事故により衝撃がひどい場合などに有効。走行距離の近い商品を選ぶことにより、前後左右のバランスが取れる。
	◎	◎	燃料タンク	ASSYとして燃料ポンプまたは、燃料ゲージが付帯しているリユース部品が多い。 ※燃料ポンプは保証対象外

### 8.3 利用事例集

実際の事故修理を事例に、リユース部品の利用事例をまとめた。

#### 8.3.1 フロント事故

(1) 対象車輛

ホンダ フィット(平成 14 年式)

(2) 損傷部品

フロントバンパー、右ヘッドライト、ボンネット、クーラーコンデンサー

(3) 確認 POINT

ASSY での注文が有効(付属品付)、色が同じであれば塗装の必要がない

(4) 価格メリット

新品部品と比較して 45,900 円のメリット有(参考価格と比較して)

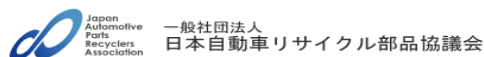
(5) 利用した部品の品質基準

洗浄、傷、ヘコミ等検査済み

(6) 利用した部品の保証内容

全品が外装部品のため現品確認期間=1 週間

### 【フロント事故】



#### ●事故の概要

◆**車輛**  
ホンダ フィット(平成14年式)



◆**損傷部品**


- ・フロントバンパー
- ・右ヘッドライト
- ・ボンネット
- ・クーラーコンデンサー

#### ●確認POINT

◆**価格メリット(新品との差)**  
新品と比べて45,900円の価格メリット


◆**バンパー内ホースメントまで損傷していないか?**

◆**ASSYでの注文が有効**  
バンパーの付属部品「ソナー」、「フォグランプ」が装着されている場合がある。



◆**納車のスピードアップ(ボンネット)**

◆**色が同じであれば有効**  
同色であれば裏面の塗装をしなくてもよい場合がある。納車までのスピードアップにつながる



#### ●リユース部品の価格メリット

(価格参考例、工賃その他は別途)

部品名	新品部品	リユース部品	価格メリット	品質基準	補償内容
フロントバンパー	32,000円	19,200円	12,800円	検査済み	現品確認期間=1週間
右ヘッドライト及びバルブ	18,600円	11,000円	7,600円	検査済み	現品確認期間=1週間
右フロントフェンダー	15,000円	9,000円	6,000円	検査済み	現品確認期間=1週間
ボンネット	18,800円	11,300円	7,500円	検査済み	現品確認期間=1週間
クーラーコンデンサー	30,000円	18,000円	12,000円	検査済み	1ヶ月。但し、1,000Km以内
<b>合計</b>	<b>114,400円</b>	<b>68,500円</b>	<b>45,900円</b>		

図 8-4 リユース部品の利用事例(フロント事故)

### 8.3.2 左側面事故

(1) 対象車輛

ニッサン マーチ(平成 24 年式)

(2) 損傷部品

左フロントフェンダー、左フロントドアパネル、左リアドアパネル、左フロントレギュレーター、左ドアミラー

(3) 確認 POINT

内部まで損傷していれば ASSY での注文が有効、ミラーの色が同じであれば塗装の必要がない

(4) 価格メリット

新品部品と比較して 73,600 円のメリット有(参考価格と比較して)

(5) 利用した部品の品質基準

洗浄、傷、へコミ等検査済み

(6) 利用した部品の保証内容

全品が外装部品のため現品確認期間=1 週間

#### 【左側面事故】

#### ●事故の概要

◆車輛

日産 マーチ(平成24年式)



◆損傷部品

- ・左フロントフェンダー
- ・左フロントドアパネル
- ・左リアドアパネル
- ・左フロントレギュレーター

#### ●確認POINT

◆価格メリット(新品との差)

新品と比べて73,600円の価格メリット

◆内部まで損傷していないか？



◆ASSYでの注文が有効  
ドア一体を交換するので作業時間も短縮でき急ぎの修理にはお勧め、同色であれば塗装の必要がない場合もある。

◆修理費が安い(ドアミラー)



◆色が同じであれば有効  
経済性だけでなく、環境にも貢献できる。

#### ●リユース部品の価格メリット

(価格参考例、工賃その他は別途)

部品名	新品部品	リユース部品	価格メリット	品質基準	補償内容
左フロントフェンダー	20,100円	12,600円	7,500円	検査済み	現品確認期間=1週間
左フロントドアパネル	36,200円	22,000円 (ASSY)	14,200円	検査済み	現品確認期間=1週間
左リアドアパネル	35,200円	23,000円 (ASSY)	12,200円	検査済み	現品確認期間=1週間
左フロントレギュレーター	28,700円	-	28,700円	検査済み	現品確認期間=1週間
左ドアミラー	27,000円	16,000円	11,000円	検査済み	現品確認期間=1週間
合計	147,200円	73,600円	73,600円		

図 8-5 リユース部品の利用事例(左側面事故)